



みやま訪問により、活動は大きく前進した

(特非) 地域の未来・志援センター

日本版「首長誓約」による 地域気候エネルギー政策 確立支援事業

一般助成

3年目

実践

エネルギー自治を進める
ための政策支援ツール開発

1件

日本版「首長誓約」を行う
首長数

6人

活動の全体目標に
対する達成度

100%

課題

温室効果ガスの大幅削減、再生可能エネルギーなどへの転換、気候変動・自然災害への対応。
また、「地域」における人口減少への対応、経済・雇用の再生。

目標

地域のエネルギー需給の在り方は「エコロジース・民主的・社会公正的」観点から地域で決め、自治体がエネルギー事業者になることを含め、地域が主体となって上記課題に取り組むエネルギー自治への道筋をつける。

活動内容

全国の新電力会社への訪問・ヒアリングを実施し、その中で出会ったみやまスマートエネルギー株式会社に対し、協働を申し入れて実現。2050年問題を見据え、人口減少・超高齢社会、自治体の財源不足などに伴うインフラ整備の衰退・福祉サービスの縮小などを地域住民自らが担うための「地域の課題解決公社」(ドイツでいう「シュタットベルケ」)を構築する提案を、誓約自治体の豊田市、そこに隣接する新城市の首長に対し行った。



豊田市に対し、地域の課題
解決公社を提案

達成できなかったこと

自治体職員の気候エネルギー政策能力向上<<原因:勉強会を行った西三河9市1町の自治体に担当部署がなく、他部署との連携を提案したが、進まなかった>>

今後の展望

地域創生のためにエネルギー自治が必要であるとする自治体や地域貢献を目指す事業者のネットワーク構築。

成果と工夫した ポイント



成果

「首長誓約」を行った自治体のうち、豊田市と新城市に対し「地域の課題解決公社」設立を提案。豊田市長から豊田市の7割を占める中山間地域において事業立上げの検討に入る旨の回答を得た。

工夫

全国の新電力を訪問。地域の課題解決をミッションとするみやまスマートエネルギー(株)との協働を実現したこと。